がん化学療法指示書

登録番号　266

作成日　2020/11/11

レジメン名	Atezolizumab+Bmab
診療科・対象疾患	（消）切除不能肝細胞癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
テセントリク	アテゾリズマブ	1200mg	Day1
アバスチン	ベバシズマブ	15mg/kg	Day1

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤（成分名）	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	…	…	…	…	…	day21
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
Rp2	癌	テセントリク（アテゾリズマブ）	1200mg	60分※1	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	250mL									
Rp3		生理食塩液	50mL	15分	点滴静注メイン	●						
					経過観察用							
Rp5	癌	アバスチン（ベバシズマブ）	15mg/kg	90分※2	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	100mL		総量100mLに							

内服

その他必要薬剤	
総投与時間	（初回）2時間45分・（2回目以降忍容性良好の場合）1時間45分・（3回目以降忍容性の場合）1時間15分
血管外漏出リスク	テセントリク（アテゾリズマブ）：不明 アバスチン（ベバシズマブ）：非壊死性抗がん剤
投与時の注意事項	テセントリク（アテゾリズマブ）はフィルター付ルートで投与する ※1・・・テセントリク（アテゾリズマブ）の投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる ※2・・アバスチン（ベバシズマブ）の投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与時間は60分、3回目以降は30分まで短縮できる
備考欄	Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg　5錠 アセトアミノフェン300mg　2錠 Child-Pugh分類Aのみ